

グリーンピックス

北海道立林業試験場

No.26

どうなる？2002年春のシラカンバ花粉症 －札幌市での着花調査による花粉飛散量の予測－

これまでの北海道における花粉症の主要な原因は、イネ科などの草本が中心でしたが、近年、札幌などの都市部を中心にシラカンバ花粉症が急増しています。シラカンバの花粉飛散量は年による差が大きく、飛散量が多くなれば花粉に接する可能性が高くなるので、花粉症の人はより注意が必要です。今回は、2002年春の札幌市での花粉飛散量をシラカンバの雄花の着花調査により予測しました。

シラカンバの雄花は5月に開花しますが（写真－1）、雄花ができれば始めるのは前年の夏で、落葉後には翌春開花する雄花（写真－2）を肉眼で観察することができます。そこで2002年春の花粉飛散量を予測するため、札幌市内の街路樹や天然林においてシラカンバの雄花の着花調査を2001年秋に実施しました。調査の結果、清田区以外の調査地ではいずれの場所でも、シラカンバの雄花数は2000年春の開花数と同程度かそれ以上に多いことがわかりました（図－1）。道立衛生研究所の飛散花粉調査では、2000年春は最近5年間では最も多い飛散量を記録しています。したがって、札幌市の2002年春のシラカンバ花粉の飛散量は2000年程度かそれ以上に多いと予測されます。

今後はこうした予測の精度を高めるとともに、札幌だけでなく道内の他の都市でも花粉予報が提供できるよう研究を進めたいと思います。

（生産技術科）



写真-1 春の開花した雄花



写真-2 秋の雄花

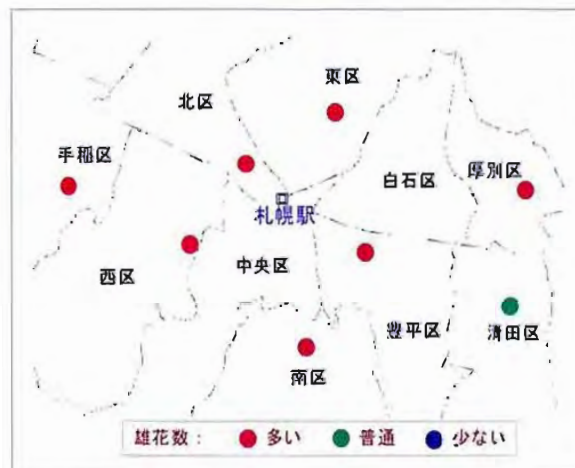


図-1 2001年秋の札幌市におけるシラカンバの着花状況

マイマイガの発生に注意

昨年の夏、留萌、後志、上川地方などのいくつかの市街地でマイマイガが大量に飛来し、壁などに多数の卵のかたまりを産みつけました（写真-1）。今年の春5月には卵から黒い小さな幼虫がかえります。幼虫は暖かい日に糸をはいて風で飛び（写真-2）、家屋などに侵入する可能性があります。幼虫に強い毒はありませんが、人によっては触ると皮膚炎が起きます。また、店頭に並べた商品などに混入することがあります。卵をみつけたら取り除くとともに、5月に入ったら窓に網戸をして幼虫の侵入を防いでください。

カラマツ林やカンパ類など広葉樹林では6～7月にマイマイガの幼虫（写真-3）による葉の食害が予想されます。これら落葉樹は葉を食われても2週間ほどで新しい葉を回復するので枯れることはありません。しかし、葉を食われると樹木は一時的に衰弱するので、カラマツは幹に潜るカラマツヤツバキクイムシに加害されることがあります。このクイムシの加害により大量のカラマツが枯れた事例が知られています。マイマイガが多発した林分では間伐や枝打ちを控えてください。クイムシ類は切った木の臭いに誘引され集まるからです。やむを得ず間伐する場合は秋から冬に実施し、丸太は搬出してください。

（病虫科）



写真-1 マイマイガの成虫と卵のかたまり（茶色の綿状のもの）



写真-2 卵から孵化したばかりの幼虫（体長約5mm）



写真-3 マイマイガの成長した幼虫（体長22mm）

漁師さんが森林に期待する機能とは？

北海道内では近年漁協婦人部を中心とした植林運動が活発化するなど森-川-海のつながりに対する関心が高まっており、林業試験場でも研究を進めています。こうしたなか、森林に対する漁師さんの意識を把握するため、噴火湾沿岸域6漁協でアンケート調査を実施しました。

すると、「魚にとってよい森林」はどの地域でも「広葉樹林」と回答する人が多く（図-1）、その理由として、DとEの漁協は「プランクトン増殖」、Fは「保水力向上」、Cは「落葉供給」を挙げる傾向が表れ（図-2）、認識には地域特性があることがわかりました。全体としては「わからない・無回答」の人も半数近くを占めましたが、今後上流域と連携を図ることに 대해서는、回答者の9割近くが積極的に考えており（図-3）、関心の高さが改めて示されました。

（流域保全科）

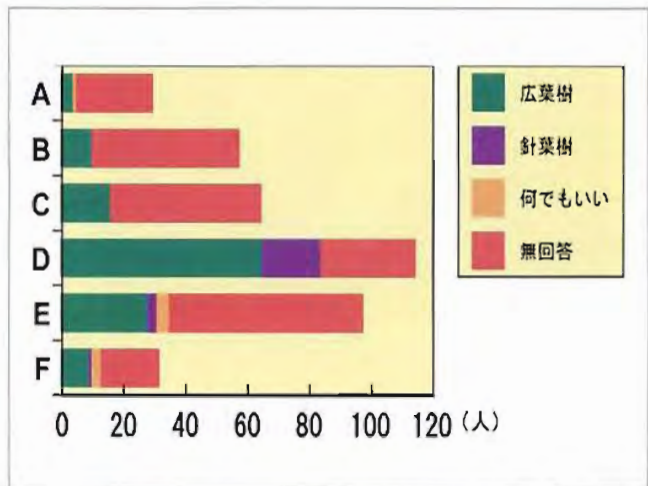


図-1 魚にとって良い森林とはどんな森林ですか？に対する回答

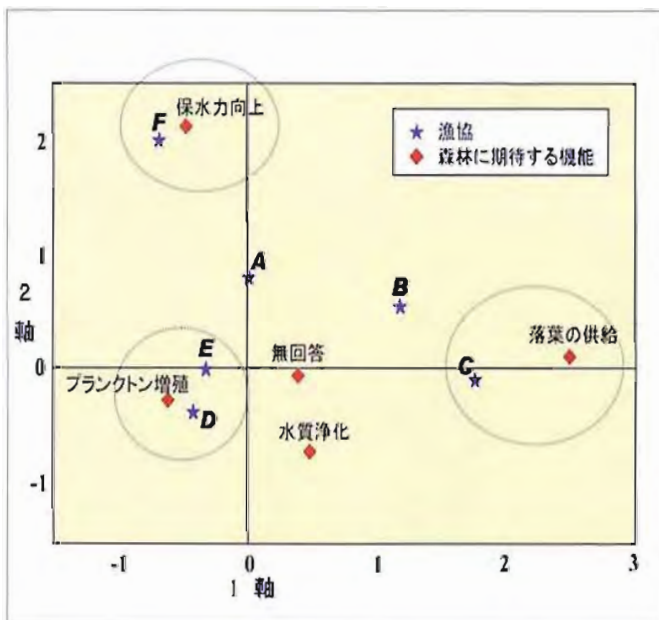


図-2 地域ごとに特徴づけられた森林に期待する機能（対応分析によって解析）。

各プロット間の距離は相対的なもの。

1軸の負の方向は「プランクトン増殖」という項目が大きく関わっており、同じ方向にプロットされた「漁協D」の漁師さんは、森林に対し「プランクトン増殖」の機能を強く期待している、と解釈できます。

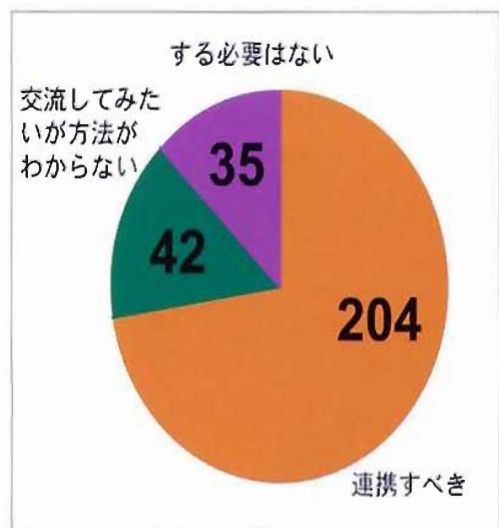


図-3 沿岸域の環境保全のために上・下流が連携をとることについてどのようにお考えですか？

もり 森林とみどりの担い手養成セミナー

林業試験場では、林業やみどり環境づくりに携わる技術者や自然教育活動の指導者を志す方々のために、平成14年度も、「森林とみどりの担い手養成セミナー」を下記の日程で開設します。詳しい講座内容を知りたい方、または受講を希望される方は下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

なお、各講座は、道民カレッジ連携講座となります。



林業技術応用講座



緑化技術応用講座

講座名	期間	場所	講座内容
林業技術基礎講座	4月23～25日	道南支場	測量、測樹などの一般的林業技術
	5月7～9日	本場	
	5月28～30日	道東支場	
	7月9～11日	道北支場	
林業技術応用講座	9月3～5日	本場	森林施業、森林保護、立木評価などの高度な林業技術
緑化技術基礎講座	5月8～9日	道南支場	緑化樹の増殖と維持管理などの一般的緑化技術
	6月25～26日	道北支場	
	7月11～12日	本場	
	8月27～28日	道東支場	
緑化技術応用講座	7月17～18日	本場	緑化樹の維持管理技術
	2月18～20日	本場	緑化樹の組織培養技術
フォレストガイド春季講座	5月14～16日	本場	森林の仕組みと機能、森の動植物、森林解説活動など
フォレストガイド秋季講座	9月25～27日	本場	



グリーンダイヤルは
あなたのダイヤルです。

「山づくり」や「緑を育てる」質問・相談をお受けしています。
お気軽に電話してください。すばやく、詳細な情報をお届けします。



連絡先

林業試験場 本場 TEL 01266-3-4164 FAX 01266-3-4166
道南支場 TEL 0138-47-1024 FAX 0138-47-1024
道東支場 TEL 01566-4-5434 FAX 01566-4-5434
道北支場 TEL 01656-7-2164 FAX 01656-7-2164
ホームページ <http://www.hfri.bibai.hokkaido.jp/>

発行年月 平成14年3月
発行 北海道立林業試験場
〒079-0198 美瑛市光珠内町東山